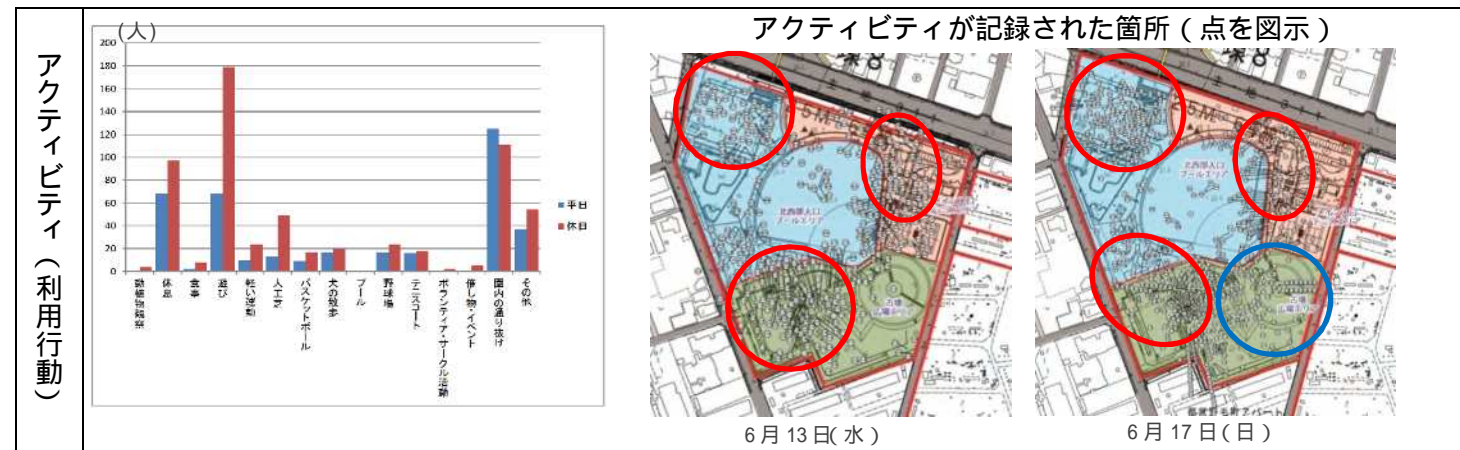
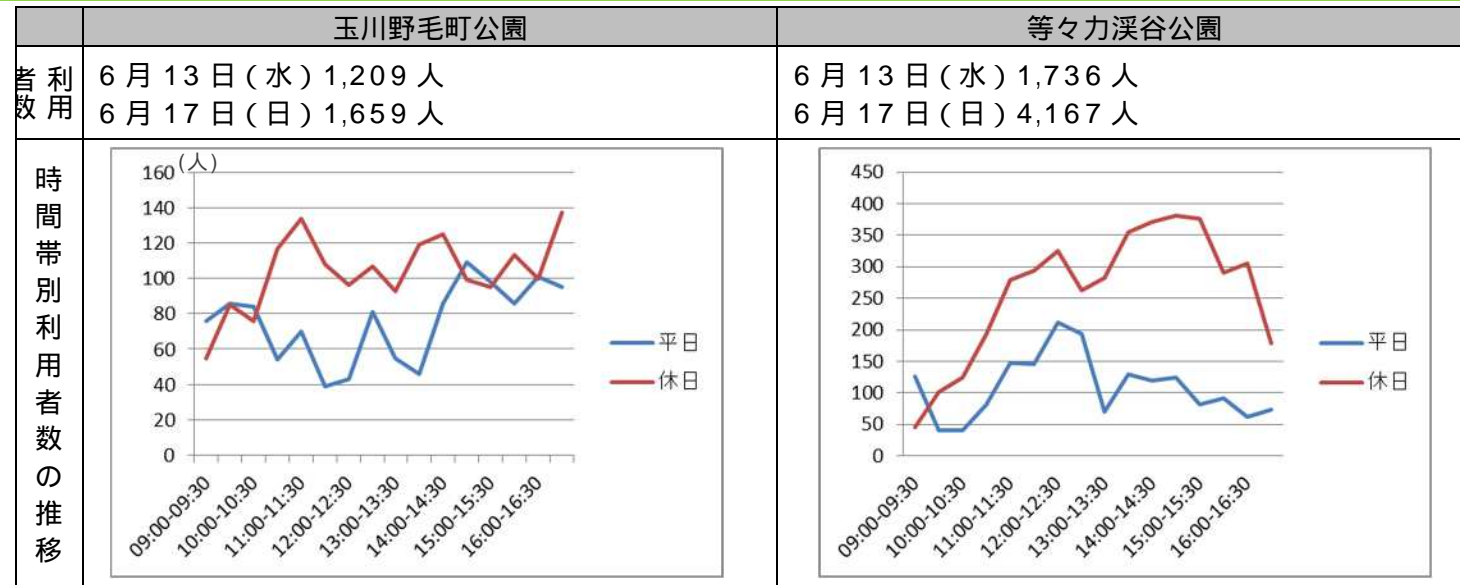


玉川野毛町公園の利用実態調査、アンケート調査の結果概要について

1. 調査概要

項目	目的	調査対象	日時
利用実態調査	利用者数の実態を把握する	玉川野毛町公園、等々力溪谷公園の利用者	6月13日(水)9:30~16:00 6月17日(日)9:30~16:00
	利用行動の実態を把握する	玉川野毛町公園の利用者	
利用者アンケート調査	利用者の公園利用に対する要望等を把握する	拡張区域における現場見学会参加者 公園利用者	7月1日(日)9:30~16:00 7月4日(水)9:30~16:00

2. 利用者数調査等の結果



利用者数：等々力溪谷公園は玉川野毛町公園の1.5倍以上(平日：約1.5倍、休日：約2.5倍)来訪している。本調査の結果、等々力溪谷公園の年間利用者数(平成29年度)は、約43万人と推計される。
 アクティビティ別利用者数：平日、休日ともに「園内の通り抜け」「遊び」「休息」が多い。そのうち、平日では「園内の通り抜け」、休日では「遊び」が最も多い。また、休日になると野毛大塚古墳を訪れる人が増えている。
 アクティビティが記録された箇所をみると、「多目的広場」「子ども広場(遊具)」「デイキャンプ場付近のベンチ」で、平日、休日問わず多くの利用が確認されている。休日になると、野毛大塚古墳の利用が増える。

3. 現地見学会での意見(自由意見)

	平日	休日
自由意見	公園の拡張工事計画について期待すること、お気づきの点等をご自由にお書きください	
	・自然を感じられる公園づくり：約16件 ・子供が安心して遊べる公園づくり：約5件	・自然を感じられる公園づくり：約35件 ・子供が安心して遊べる公園づくり：約10件 ・カフェの設置：約5件 ・コンビニの設置：約5件

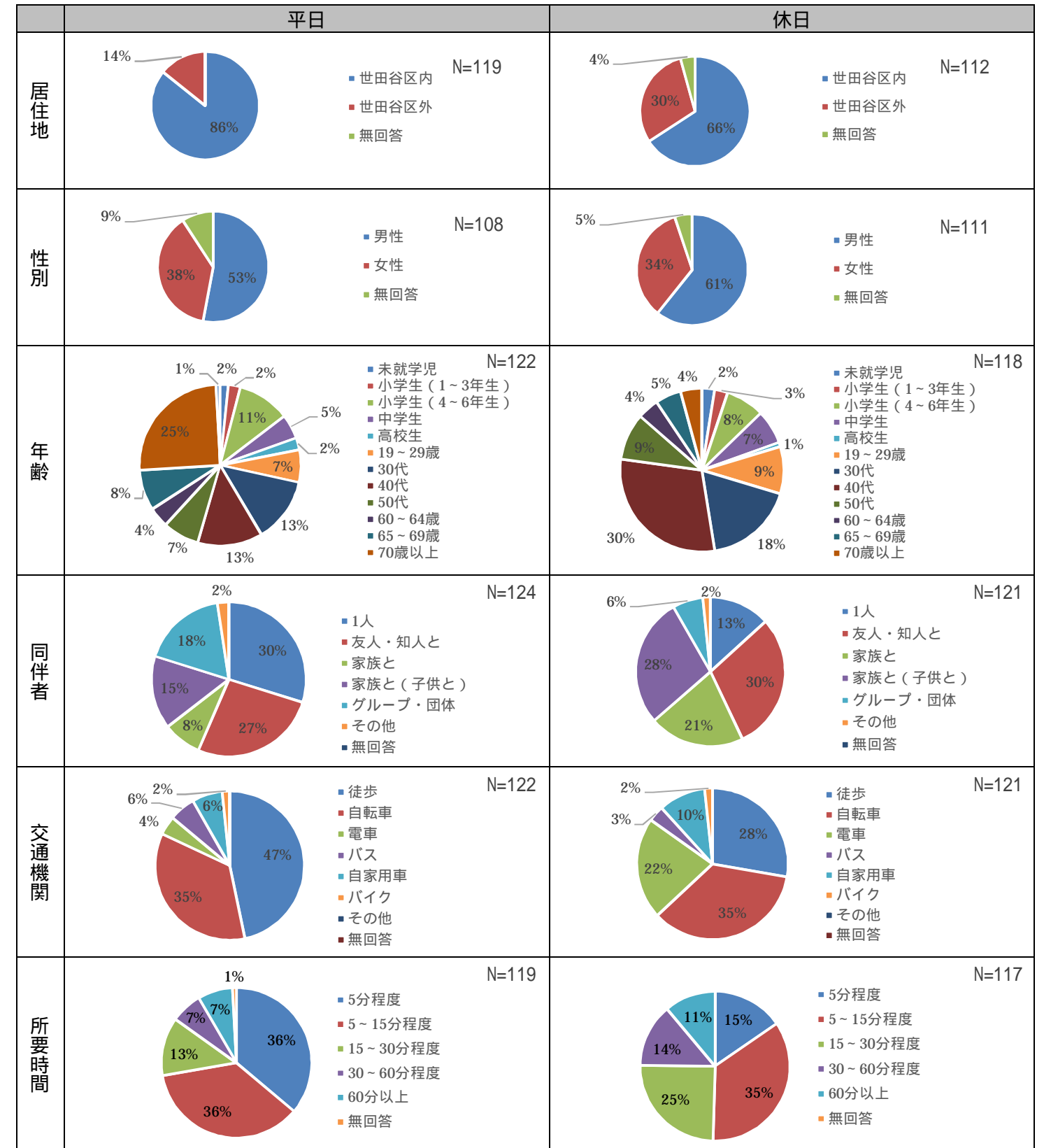
「自然を感じられる公園づくり」や「子供が安心して遊べる公園づくり」に関する意見が多い。休日には、カフェやコンビニ等便益施設の要望があがっている。

4. アンケート調査の結果

4-1 利用者特性

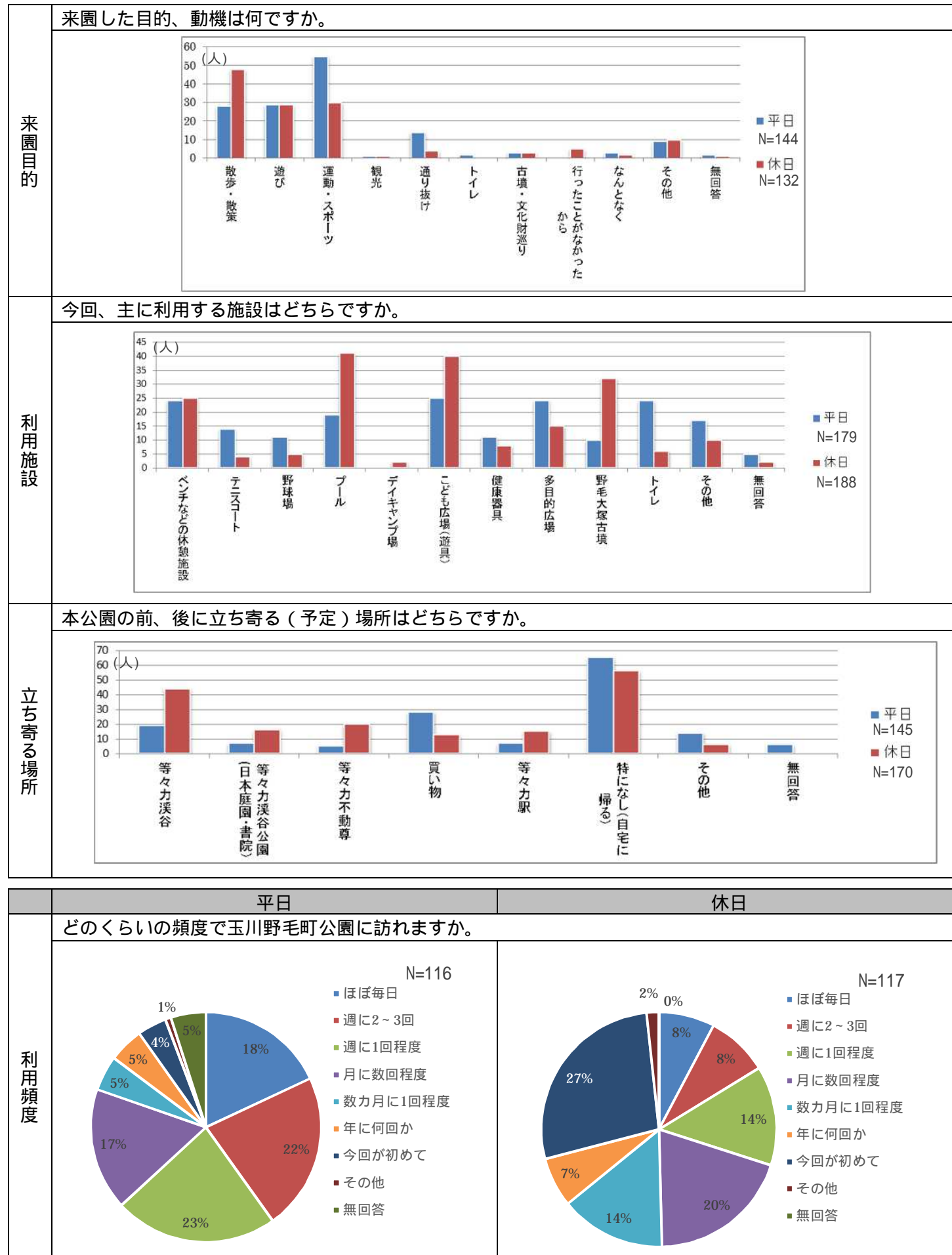
N = 回答総数

アンケート回答者数(平日(7月4日(水))：119人、休日(7月1日(日))：117人)



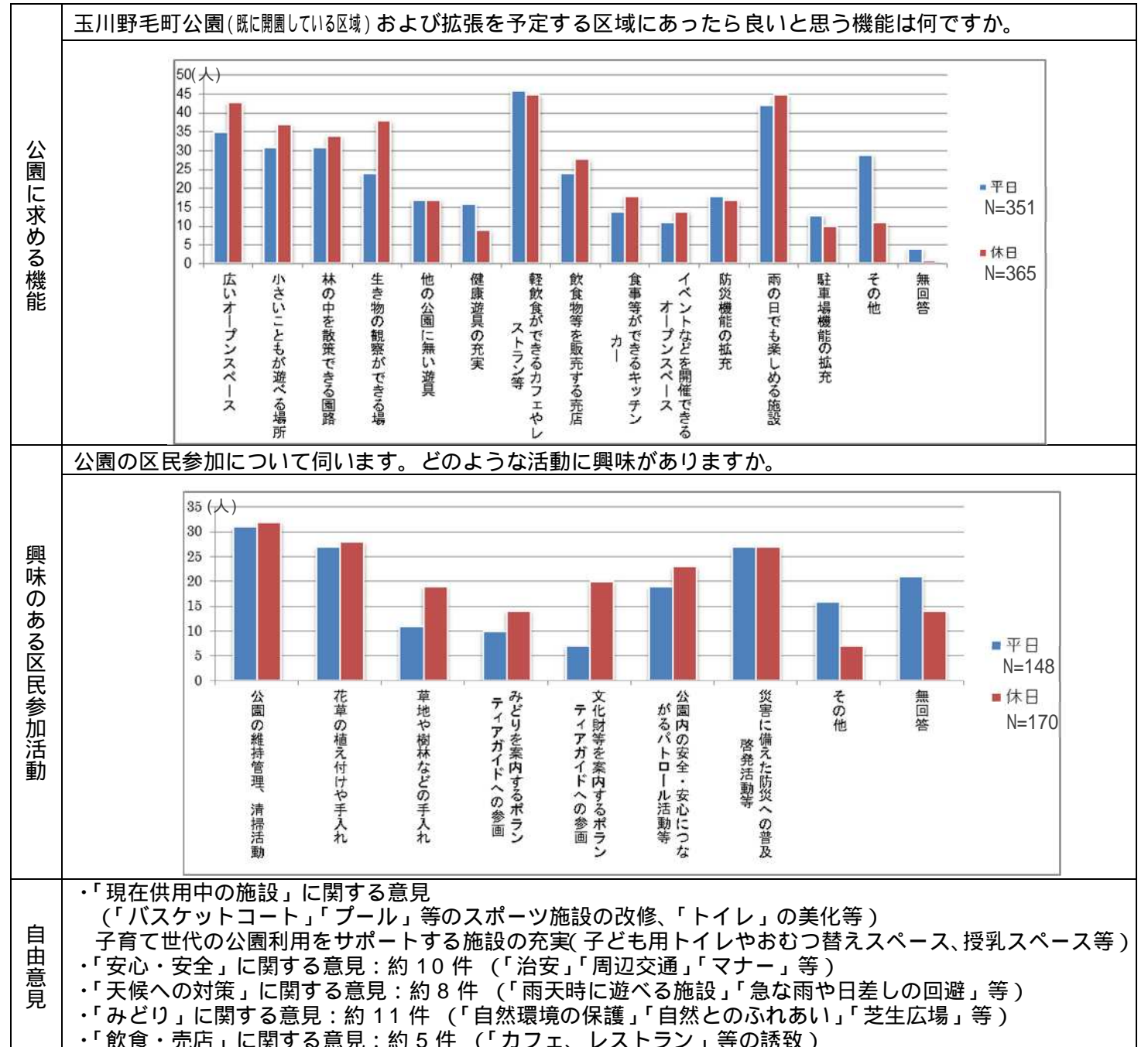
居住地：平日、休日ともに世田谷区内からの利用者が多い。休日には、区外の利用者が倍増する。
 性別：平日、休日ともに男性の利用者が多い。
 年齢：平日は70代、40代、30代の順に、休日は40代、30代、50代、19~29代の順に多い。
 同伴者：平日は「1人」「友人・知人と」の順に、休日は「友人・知人と」「家族と(子供と)」の順に多い。年齢、同伴者の結果より休日は親子連れが多いことがうかがえる。
 交通機関：平日は「徒歩」「自転車」、休日は「徒歩」「自転車」「電車」が多い。
 所要時間：平日は15分以内の利用者が72%を占めるが、休日は15分以上の利用者が50%に増加する。

4 - 2 現在の利用状況



来園目的：平日、休日ともに「運動・スポーツ」「散歩・散策」「遊び」が多い。そのうち、平日では「運動・スポーツ」、休日では「散歩・散策」が最も多い。
 利用施設：平日は「子ども広場(遊具)」「ベンチなどの休憩施設」「多目的広場」「トイレ」が多く、休日は「プール」「子ども広場」「野毛大塚古墳」が多い。
 立ち寄る場所：「特になし(自宅に帰る)」を除くと、平日は「買い物」「等々力渓谷」が多く、休日は「等々力渓谷」「等々力不動尊」が多い。(「等々力渓谷」の割合：平日約16%、休日約37%)
 利用頻度：平日は「ほぼ毎日」~「週に1回程度」などの高い利用頻度が約70%を占める一方で、休日は「数ヶ月に1回程度」~「今回が初めて」などの低い利用頻度が約半数を占める。

4 - 3 公園に求める機能等



公園に求める機能：平日、休日ともに「軽飲食ができるカフェやレストラン」「雨の日でも楽しめる施設」「広いオープンスペース」が多い。
 興味のある区民参加活動：平日、休日ともに「公園の維持管理、清掃活動」「草花の植え付けや手入れ」「災害に備えた防災への普及啓発活動等」が多い。
 「文化財等を案内するボランティアガイドへの参画」については、平日では低い回答であったが休日では大きく増加する傾向が見られる。
 ○自由意見：「みどり」「安心・安全」「天候への対策」に関する意見が多い。